

第4号

明治大学校友会
柏地域支部

柏 明



はくめい

発行日 平成21年7月1日
 発行 明治大学校友会
 千葉県西部支部柏地域支部
 発行人 宇都宮幸正
 住所 〒277-0066
 千葉県柏市中新宿 1-2-21
 電話 04-7173-7301

ホームページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/meiji-u.kouyuukai.kasiwa/>

P1: 第七回柏地域支部総会、マンドリン倶楽部演奏会

P3: 趣味の講談(佐々木利夫)

P2: 私の履歴書(萩原功) イラク見聞録(一)(故 森田富弥雄)

P4: 事務局からのお知らせ、イベントのお知らせほか



平成二十一年五月三十一日、プラザ平安
柏において第七回柏地域支部総会が開催
されました。

第七回柏地域支部総会



はやっぱり、明大校歌です

宇都宮地域支部長のあいさつ、来賓の紹介、出席者数の確認の後、総会の開催が宣言されました。議事は、いずれも滞りなく承認・可決されました。続いて、加茂幹事長より今年度事業計画の説明があった後、柳沢副学長より「明治大学の現状と今後」というテーマで御講話いただき、母校が現役高校生の受験したい大学のNo.1に選ばれたという大変興味深い話を伺いました。

続いて開かれた懇親会では、テノールシンガー滝孝治先生リードのもと「バラが咲いた」「夏は来ぬ」「ともじび」「いい日旅立ち」「学生街の喫茶店」等、往年の名曲を、歌の流行した時代に合わせて、多くの校友が入れ替わり前に出て、肩を合わせて歌い、懐かしい「こえ喫茶の雰囲気を楽しみました。なお、は名曲中の名曲「明大校歌」であったのは記するまでもありません。

マンドリン倶楽部演奏会

十月四日(日) 柏市民文化会館にて
柏市で初の開催

明治大学マンドリン倶楽部は古賀正男ゆかりの日本を代表する大学生によるマンドリン演奏団です。

柏地域支部は一昨年十二月に、我孫子地域支部と共催し、我孫子けやきプラザホールにて「マンドリン倶楽部演奏会」昼夜二回公演を開催し、満員の観客に楽しんでいただきました。

今回は、十月四日(日)柏市民文化会館大ホールにて「柏市福祉協議会」「柏市教育委員会」の後援をいただき、チャリティーコンサートとして、前回と同じく我孫子地域支部と共催で開催することになりました。

柏での「明大マンドリン倶楽部演奏会」は初めてのことですが、より多くの市民の皆様のご要望に答えて、会場も広い場所に季節もより良い秋の十月にしました。昨年より、月に一度、我孫子地域支部と実行委員会を開いて準備を進めていて、間もなくチケット・パンフレットが出来上がりです。このコンサートを成功裡に終わらせるためには、明治大学校友の皆様のご協力が必要です。是非ともご協力のほどお願いします。申し込み、問い合わせは

幹事・駒田泳三

〇四・七二四二六七八一

幹事・浅野富美代

〇九〇・九三八一 八〇〇一

までお願いします。



(事業委員長 駒田泳三)

私の履歴書



昭和29年政経卒
萩原功

私は、昭和六年七月、柏駅前(株)ハギワラの次男として呱呱の声をあげました。実家は、明治三十五年(1920年)に祖父が創業しましたが、私が誕生した当時は既に父母が引き継ぎ、柏駅前通りの駅より一軒目で、時計メガネの他、煙草、菓子等も販売していました。屋号の東屋が示すとおり、創業時は柏駅を停車する数少ない汽車を利用して通勤通学する方達の、休憩所のような存在でもあったようです。また、衆議院議員選挙時には、当時の地元選出議員成島勇氏の選挙事務所としても活用され、地元有力者が大勢出入りしていたのを記憶しています。因みに私と兄、すぐ下の弟の三人は、成島勇氏が名づけ親です。幼年期から小学生時代の私は、家庭も学業生活も比較的恵まれた環境の中で、平穩に「過」すことができたと思っております。そして太平洋戦争の末期、昭和十九年四月、現在の柏第一小学校(当時は柏国民学校)を経て、旧制県立東葛飾中学校(現東葛飾高等学校)に入学、五年時に新制高校二年に編入されたため、東葛には通算六年間在学しました。今思えばこの東葛時代は、私の人生の中で、精神的に最悪の奈落の底でした。戦争末期から敗戦そして復興へと日本の大きな変貌期で

あり、我が家にとつても、昭和二十三年三月から僅か一ヶ月余りの間に、両親が相次いで病死し、祖母と四年上の兄と私は幼少の弟一人を抱え、店は破産寸前の状態でした。この実家の大ピンチも兄の懸命な努力で何とか回復し、兄が諦めた大学進学(の夢)を私に与えてくれました。こうして私は、昭和二十五年四月明治大学に入学、昭和二十九年三月政治経済学部経済学科を卒業しました。

暗黒だった中学、高校時代に比べ、大学時代は、同じクラスの仲良し四人組で、勉強にリクリションに学業生活を堪能することができました。特に六大学野球での母校の応援には、神宮球場の他、上井草や三鷹の球場まで行き、青春を謳歌しました。ところが大学卒業時期は、未曾有の就職難の時代で、一時期に小さな雑誌社や生命保険の外交などの仕事を経験しましたが、二年後地元の柏市役所で公募による初めての採用試験があり、多くの応募者がありました。が、幸いにも合格し、昭和三十一年四月、柏市役所に入庁しました。柏市役所では、柏市の急速な発展により昇格も早く、部長職(経済、財政、総務)など定年までの一般職を三十六年間、土地開発公社(理事長他)、特別職(収入役)を含めると四十二年間勤務させていただきました。この間の心に残る思い出は多種多様ですが、主なものを列挙しますと、商工課長時代は、当時のテレビ十二チャンネルの人気番組芸能の都市対抗「街ぐるみワイドショー」で藤沢市と対戦して快勝、消費庁行政を初めて導入、第一回の消費生活展を旧屋敷(現新星堂)

で開催、経済部では、県下市町村の第一号として、消費生活センターを柏駅前のフェアリー柏ビル内に設立、柏まつりの前身である柏商業まつりを創設、柏駅前の大型店進出ラッシュに係る地元商店街の振興等について、市議会での論戦や他市等からの視察の対応、柏商工会の商工会議所昇格について通産局等への陳情、財政部では、第二次オイルショックのさなかでの激しい財政運営、市発注工事の入札制度の改善と工務同和企業と業者指名についての対決、総務部では、県下市町村で初めて公文書公開制度の条例を制定、懸案であった柏駅周辺防災訓練の実施と県総合防災訓練を柏市内で実施、当時の総評関係者との固定資産税評価の係る訴訟についての勝訴、自治労加入の現業組合等との団体交渉などで、退職し年金生活の今でも忘れることのできない懐かしい思い出であり、心の糧にもなっています。

昭和二十九年政経卒 萩原功

イラク見聞録(一)



昭和29年商卒
故 森田富弥雄

着陸の知らせで、機内の窓をそっと掲げると、未明の滑走路にパッパッと進入灯が点火され、着陸と同時に消灯された。イラン、イラク戦争の最中、週一便のイラク航空便で、十九時間の飛行時間でバグダット空港についた。

一九八〇年から八五年完成のイラク共和国総合病院一期工事五病院、二期工事七病院が日本企業工建設にて施工され、私も前後七回にわたりイラク入りした。

訪れたイラクの地理を大俯瞰すると、北から東にかけて高原が続いている。トルコのアナトリア高原、イランのザクロ山脈である。一方にはシリア砂漠が広がっている。メソポタミアは高原と砂漠の中にある。一大オアシスといつてよい。

北方地方は冬には雪も降る。豊かなこの地帯に二本の大河が流れている。一本は北から真南に下るチグリス川、他の一本は西から東南へと流れるユーフラテス川で、トルコからバグダット、バスラを経てペルシア湾にそそぐ。バグダットからバスラまで六〇〇キロ、この間の標高差はわずか三〇メートル、一キロの距離に対して五センチの高差しかない。

空港から迎えにきたバスで現場へ向かう。市内は根こそぎひっくり返すような工事ラッシュ、バグダット大改造の真最中である。フセイン大統領官邸(K建設)高層住宅(S建設)の他、日本のゼネコンの工事が目立つた。どのビルの屋上にも十畳が築かれ、空には気球がいくつも揚り、ナツメヤシの並木の中には戦車が、そして町中銃を構えた兵士が立って居る。

一九八〇年九月二十二日、イラン、イラク戦争勃発に備えての、バグダットの防衛体制である。

現場着后、所長に挨拶、特に次の注意事項が思い出される。一つには酒はイラクでは外国人は自由である。しかし、市内の

クラブ等で飲んではいけない。一人当たり日本円で四十万円位取られた由(女性はフイリッピン人)。現地の女性に絶対に手を出さない事、市内のチアイヤ(喫茶店)でたむろして居る老人は皆お金持ち、それは娘を嫁に出したからだ。結納金が三千万円(年頃の男性の月収が三万円位)で、娘二人も居れば左扇である。だから、若い娘はバージンでなければならぬ。それでイラク女性を外出の際、チャドルで身を包む様求められて居る。外出する女性は老人である。フランス製のスカーフで髪を包むだけの姿を見かけるが、これは異教徒(キリスト教徒や仏教徒)で、イスラム社会では父親や夫の許可なく女性を撮影するとトラブルがおきる。私も二人連れの女学生を写したら怒って追っ掛けられた。女性は決して客の前に姿を現さない。買い物も客の食事を運ぶのも、やはり男性の仕事である。

道行く男性のさつそつとした姿が圧倒的に目につく。男の中の男、男の心意気そのものと云う精悍な表情の男たちはヒゲも立派で、姿勢も堂々として居る。(故フセイン大統領の様に)では、月給三万円では三千万円の結納金はとても・・・、いつの日に結婚できるのか?この話は次号で!

昭和二十九年商卒 森田富弥雄

(森田さんは、かねてから病氣療養中でしたが、昨年十一月にご逝去されました。この原稿は昨年十月に寄稿頂いたものです。ご本人による校正はできませんが、森田さんの残された遺稿として、掲載させていただきまし。文章は連載形式になっていますが、本人死亡のため続編はありません。森田さんのこ

冥福を祈ります。



趣味の講演



昭和42年法卒 佐々木利夫

講演を聴いて十二年目

五十過ぎて、老後を考えました。老後の趣味を、普通に六十を定年として、それから新たに趣味をはじめても遅いのではないかと考えました。そこで、事務所に立ち寄り、約一回り年上の税理士の先生に趣味を聞いたところ、その先生の数ある趣味の一つに「講演」というのがありました。講演が苦として「存在」していることに驚き、それを指導してくれる「修羅場塾」な

どというものがあるのには感動ものでした。しかし、自分の趣味として、いかななものかという気もいたしました。六代目馬琴師匠が「修羅場塾」に来る日に、税理士先生に連れて行ってもらったのが、平成九年二月二十一日だったと思います。夜でした。そのとき、「鉢の木」の原稿が参加者に渡され、読み合わせのあと、一人ひとりが読まされました。

六代目寶井馬琴は明人の先輩

馬琴師匠が読まれたときに驚きました。塾生が読んでいたときは感じなかったのですが、まさに、風景が浮かび、登場人物が立ち、動き、走り、怒り、笑い、悲しみ泣き、出したかのように感じました。プロとは、これほどのものか。あらためて、プロの芸の素晴らしさに触れた気がしました。

後で知ったことですが、六代目寶井馬琴は明大文学部英文科卒でした。そのとき、この芸は真似られるものなら、まねる価値があると、思いはじめて、十二年がすぎましたが、はじめからずっと「六代目寶井馬琴」節ひとすじに稽古いたしております。

練習は月一回、六十歳までには、名取になる目標をたてていたところ、運よく、佐々木琴山」という立派な名前をいただきました。

発表会は年一回、「日本橋亭」という寄席を借りきって、夏と冬にあります。同じ演目は極力避ける方針で参りましたので、平成二〇年十一月七日の発表会「殿中松の廊下 梶川与惣兵衛」で二十一話目に

なりました。

初舞台の「宇治川先陣の争い」、以降、「青葉の笛」、「柳生伯馬の守宗矩」、「宇喜田秀家の八丈嶋物語」、「神崎与五郎東下り」、「明智左馬之助湖水渡り」、「名月若松城」、「徳川家康鯉のご意見」、「曾我の紋づくし」、「忠臣一度目の清書」、「赤垣源感徳利の別れ」、「雲居禪師と伊達政宗」、「三方目出度鯛」、「奉行と検校」、「長短槍試合」、「高瀬舟」、「名將の兜」、「黒田節の由来」、「百万両宝の入船」、「川中島和談破れ」、を発表会で披露してまいりました。プロの物まねをしながら、その域をでること、アマチュア中のアマチュアになれるよう、これからも精進したいと思えます。そのうち、何時かはオリジナル講演が出来ればいいなあとと思っています。

昭和四十一年法字部卒 佐々木利夫



事務局からのお知らせ

新年会報告

平成二十一年一月二十五日(日)、離宮飯店において恒例の新年会「新春の集い」が開かれ、三十九名の校友が集いました。

ゴルフ大会報告

第二回柏・流山地域支部合同ゴルフ大会は五月十一日(月)に紫カントリークラブ、あやめコースにて開催しました。参加人数は十七名(柏八名、流山九名)で、猪瀬千葉県西部支部長も参加され、天候にも恵まれ、林間コースの新緑のもと、和気藹々また真剣にプレーを楽しみました。優勝者は勝畑喜一郎氏(流山)、準優勝者は永井康雄氏(柏)、三位は防藤武氏(流山)となり、今回は流山地域支部の強豪が参加し、コンペが盛り上がりました。



今回は柏地域支部が幹事となり一〇月に開催の予定です。是非とも多数のご参加をお願いします。

本年度事業計画

一、総務会計委員会

- ・第七回柏地域支部総会の開催
- ・支部会報誌「はくめい」の発行
- ・全国校友富士山大会参加
- ・新春の集い
- ・事業委員会

二、柏地域支部懇親会の開催

- ・ゴルフ大会のほか、会員の親睦に関する事業の開催

三、マンドリン演奏会開催

組織強化委員会

- ・ホームページ、支部会報「はくめい」

イベントのお知らせ

によるPRR及び現会員との連携、新会員の入会等の充実に図る。支部事業への会員参加を促進し、会員相互の親睦交流を図る。

校友会千葉西部支部

「定時総会・懇親会」

日時 平成二十一年六月二十八日(日)
 総会十四時、懇親会十五時
 場所 船橋フランドホテル
 会費 五千円
 (対象校友全員に、案内状が郵送されます)

第四十五回 全国校友富士山大会

【いつべん来られ！ 富山 紫紺の集い】

とき 平成二十一年九月二十七日(日)
 ところ 富山県民会館 大ホール
 記念式典 十一時受付、十二時開式
 記念落語 立川志の輔ほか
 懇親会 十七時～十九時
 ANAクラウンプラザホテル富山
 (参加を希望される方は、加茂幹事長までご連絡下さい)

マンドリン倶楽部演奏会

日時 平成二十一年十月四日(日)
 午後二時開演(予定)
 場所 柏市民文化会館大ホール
 (一面と四面に関連記事があります。)

ゴルフ大会

柏地域支部では流山地域支部と合同で春・秋の年2回、ゴルフ大会を開催しています。今回は柏地域支部が幹事となり十月頃に開催の予定です。

(詳細は加茂幹事長まで)

第十一回 ホームカミングデー

開催日 平成二十一年十月十八日(日)
 会場 明治大学駿河台 アカデミーコモン、リバーテーター

(今年は昭和三十四年、四十四年、五十四年、平成元年、十一年卒の方が招待の対象です。対象の方には案内状が届くと思います。ぜひご参加ください。)

講演公演会

本会会員の佐々木利夫氏こと佐々木琴山氏は、毎年一回開かれる「寶井講談修羅場塾」によく出演されています。たいへん評判がよく、当日「お江戸日本橋亭」に行くといつも校友の姿を見かけます。今回は十一月二十日(日)第五十回記念公演が開催されます。(詳細はホームページにて)

明治大学マンドリン倶楽部演奏会

今秋、柏地域支部と我孫子地域支部の共催で、明治大学マンドリン倶楽部演奏会を開催します。伝統ある明大マンドリン倶楽部の演奏をお楽しみください。

日時：平成21年10月4日(日)午後2時開演(予定)

場所：柏市民文化会館大ホール

チケット：一枚2,300円(全席自由：原則当日販売なし)

販売所(予定)：浅野書店、柏高島屋友の会、弥生軒ほか

お問い合わせ：浅野 090-9382-8001

編集後記

今回は文字を楷書体に変えたほか、用紙を若干厚めなものに変更しました。最近の「はくめい」は一般的なワープロソフトで編集して、通常の事務用プリンターで印刷しています。未だ未熟な内容ですが、手作り会報誌として、なんとか体裁が整ったと思っています。

しかし、内容についてはなかなか記事が集まらず苦労しています。会報誌は会員の皆様への連絡だけでなく、勧誘時の活動紹介にも利用されます。この場合、記事の内容はもちろん、発行回数も活動実績として評価されるため、永く継続させることが重要になります。記事の投稿・企画・編集等、皆様のご協力をお願いします。(山田秋彦)

訃報

去る平成二十年十二月、本会幹事の森田富弥雄様のご逝去されました。森田様は昭和十九年商学部卒、明大マンドリン倶楽部OBで、OBによるマンドリン演奏会の開催を強く望まれていました。企画途上で病に倒れられたことが悔やまれます。謹んで冥福をお祈りいたします。

訃報

去る平成二十一年五月、前千葉県西部支部長の三宅恭雄様のご逝去されました。三宅様は我孫子地域支部長も兼任され、柏地域支部設立時には多大なご協力を頂きました。謹んで冥福をお祈りいたします。